



会議名	第11期 自治政策講座 in 東京
日時	平成21年10月27日(木)～10月28日(金)
場所	国際ファッションセンタービル(両国)
目的	「今、現場から～自治体改革が求められている改革の方向」を学ぶため
出席	田村隆光(栗東市民ネットワーク)

講義日程	第1講義 10月27日(木) 10:00～12:00
講師	新藤宗幸氏(千葉大学教授)
テーマ	「分権の現状と地域自律への道～財源や権限移譲」
内容	<p>自民政権時代の地方分権改革を総括し、「分権の目的はなにか、三位一体改革の展望は・・・、中央政府と自治体の関係のあり方」などについて講義。</p> <p>今後の改革の方向として、新自由主義とは何か、小泉政権下ではなぜ地方分権は進行しなかったなどを検証。</p> <p>さらに、鳩山政権の政治・行政の基本戦略について、官僚依存から政治主導の意義と装置、行政刷新と地方へのプレッシャーについて説明され、これからの地方分権改革の方向について、税源移譲と一括交付金について、公共事業依存体質からの脱却、国と地方の協議機関と政策調整について分かりやすく説かれた。</p>
	
講義日程	第2講義 10月27日(木) 13:00～15:00
講師	町田俊彦氏(専修大学教授)
テーマ	「税制改革の方向と自治体財政」
内容	<p>税制で明らかになる国の姿として、抜本的税制改革、景気の本格的回復の時期、分権型社会の確立との関連など、自治体財政の実態と税制改革の議論の争点などを解説いただいた。</p> <p>冒頭、日本における中央と地方の財政関係の特質と分権改革の方向性について、つぎに、バブル崩壊後の税制の欠陥について、そして、日本の小さな政府と負担増への強い抵抗、税制改革の方向と分権型税制、消費税の引き上げと地方への税源移譲というテーマで、解説をいただいた。</p>
	
講義日程	第3講義 10月27日(木) 15:15～17:10
講師	田中淳夫氏(森林ジャーナリスト)
テーマ	「森林からの地域再生～合併で増えた森林率がチャンス」
内容	<p>冒頭、日本の森林の変遷として、奈良時代の大仏殿の建築にみる森林の問題を解説。明治時代の森林率は約45%だったが、現在は約67%であるなど意外な数値も披露。そして、林業の本質と問題点として、森林育成として、植林、下刈り、間伐などの問題や森林利用としての海外依存体質の問題。流通の生産性の低さからくる高コスト体質価格競争など問題点を指摘された。</p>
	

講義日程	第4 講義 10月28日(金) 10:00~12:00
講師	萩原 光 氏(子育てカウンセラー)
テーマ	「自治体の子育て支援策の視点は～子どもに何が起きているか」
内容	<p>児童政策に欠かせぬ視点とは。著名な相談・支援の実践者から、子どもや子育ての実態、解決策、政策の視点をうかがった。千葉県でシャローム共育相談室を主宰し、多くの親子の立ち直りを援助。自ら運営するホームページ「ぴっかりさんの子育て相談室」は、多くのママたちの支持を集める人気サイトであり、その中での相談の実例をあげて、「いまどきの子育てが大変な訳」を解説。</p> <p>そのためにも、子育てネットワークの整備が重要と説く。</p> <p>母親運営によるネットワークづくりにインターネットや携帯サイトを使った情報提供の重要性を説く。</p>
	
講義日程	第5 講義 10月28日(金) 13:00~15:00
講師	山内道雄 氏(島根県海士町 町長)
テーマ	「地域を元気に守り切る～自立へ向けた改革のポイント」
内容	<p>日本の縮図ともいえる島根県海士町の変化。町が進めた大胆な行政改革と産業創出策を解説。</p> <p>7000人いた人口が2500人となり、島の暮らしを支えていた公共事業が国の政策により激減した。敢えて単独町村を選択し、大胆な行財政改革と地域資源を活用した「守り」と「攻め」の戦略で、島興しに奮戦中。</p> <p>「攻め」とは、地域資源を活かし島に産業を創り、島に人を増やし外貨を獲得して島を活性化すること。…役場に地産地商課、産業創出課の設置。</p> <p>「守り」とは、「先憂後楽」の精神で、徹底した行財政改革の実践。…管理職はもとより一般職員による自発的な減給の実践など、その地域再生の戦略を学んだ。</p>
	



第11 回期自治政策講座 in 東京の開会にあたり、あいさつする自治体議会政策学会の竹下譲会長(四日市大学教授)